
令和3年1月

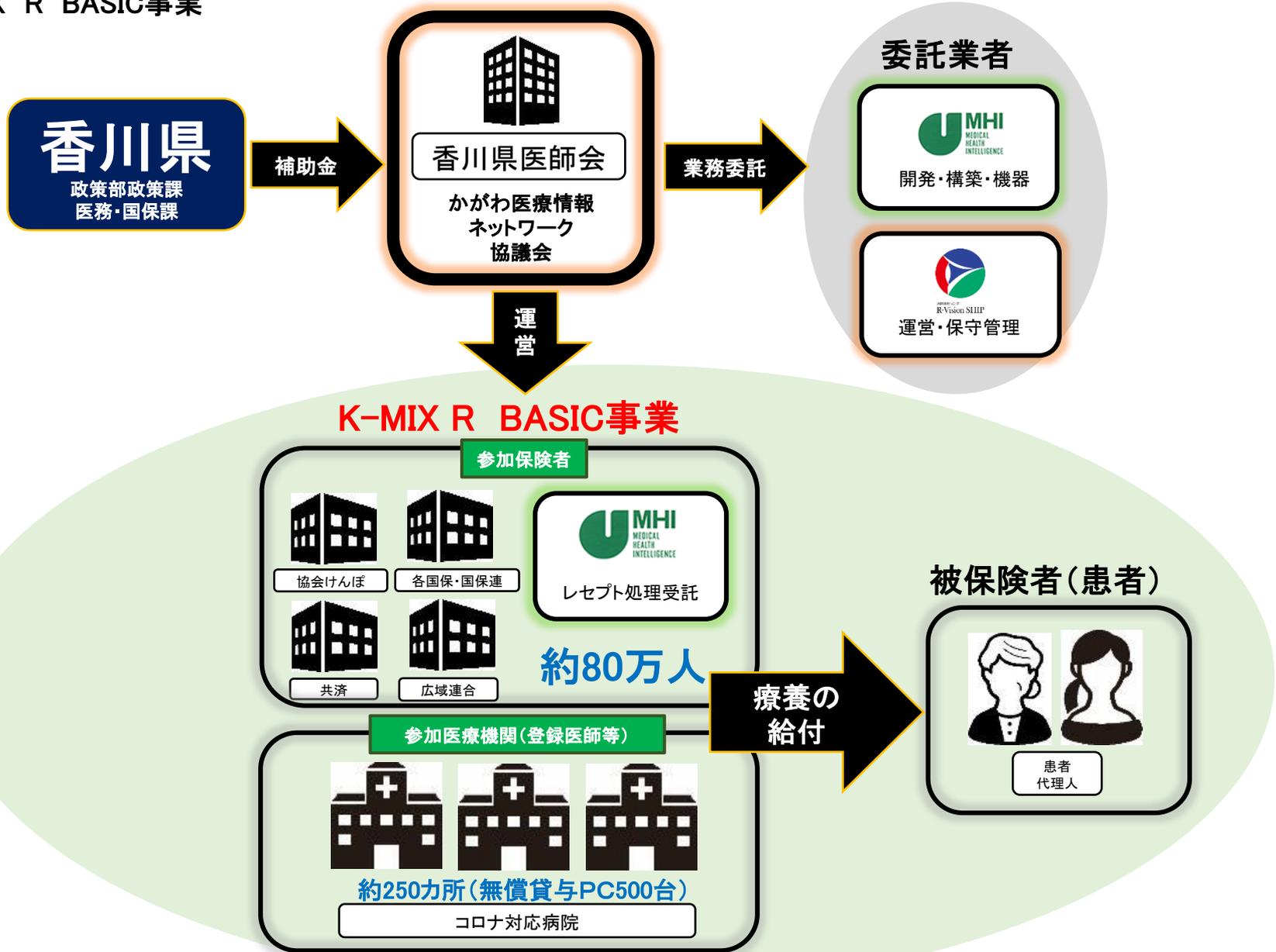
レセプト情報を活用した診療支援システム

K-MIX R BASIC

ご説明資料



Receipt **I**nformation **C**linical **S**upport **S**ystem



(1) **総合**

明治 25 年 3 月 15 日 第 3 種 郵便 物 認 可

四国新聞
11/28

レセプト情報共有へ

県内200〜250医療機関想定

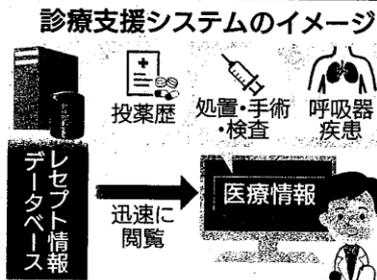
県が4月から実証研究

県は、デジタル技術を活用した診療支援システムの構築に乗り出す。レセプト（診療報酬明細書）の情報をデータベース化することで、医師が患者の基礎疾患や投薬状況などを簡単に把握できるようにし、スムーズな診療や余分な投薬防止につなげる。

同様の診療支援システムは、18年度に高松市などが総務省の実証実験として運用。一定の成果があったことから、県として今回は全国的に拡大した実証研究に乗り出した。

データベース化するレセプトの情報は、傷病や投薬、手術歴、検査の受診状況など。氏名や生年月日などは特定できないように処理する。患者のマイナンバーカードやQRコードが付いた専用カードを本人同意に活用し、医師が専用IDでアクセスする仕組み。事業の実施主体は、県医師会などでつくる「かがわ医療情報ネットワーク協議会」となる見通し。

複数の医療機関を受診している患者の基礎疾患や投薬情報などを医師が迅速かつ正確に得られるメリットがあり、県は「新型コロナウイルスの重症化リスクが高い呼吸器疾患の有無などについても初診でスムーズに把握できる」としている。



2018年(高松市)

医療等分野におけるネットワーク基盤利活用モデルに関する調査研究

(レセプトデータを活用した患者情報収集の仕組みに関する調査)



2019年(高松市・三木町)

医療等分野のネットワーク利活用モデル構築にかかる調査研究

(ネットワークを活用した医療機関・保険者間連携に関する調査)

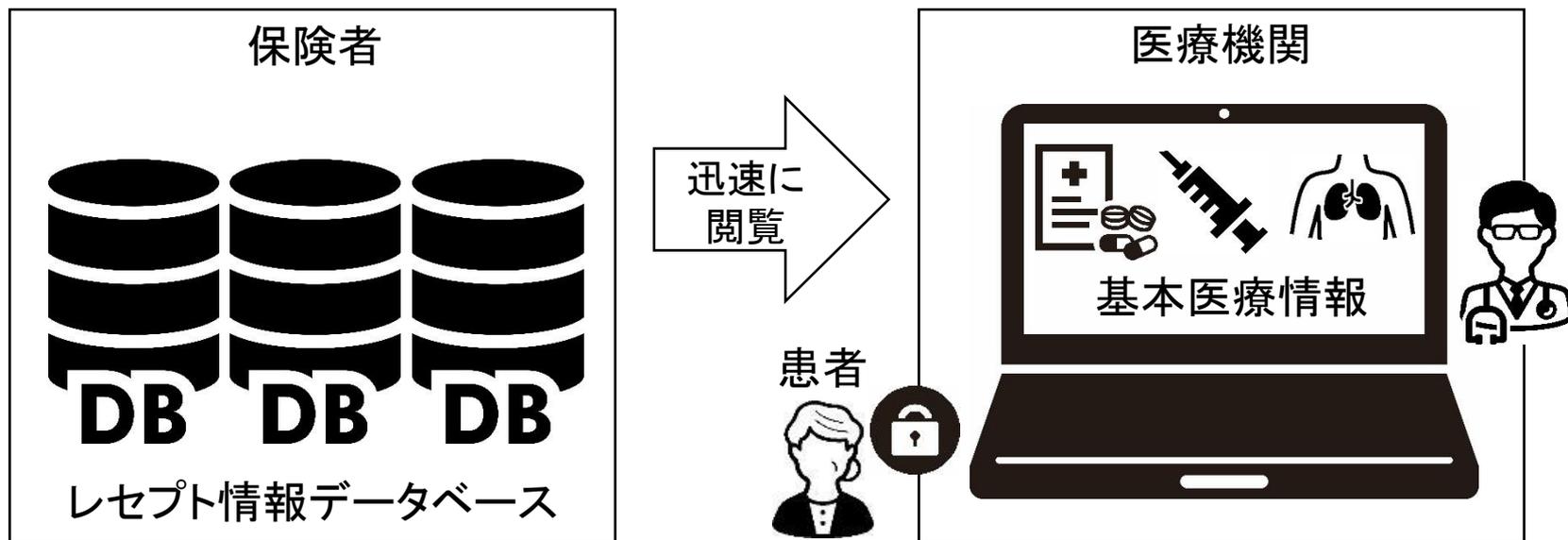


2021年4月(香川県)

レセプト情報を活用した診療支援システム (K-MIX R BASIC)

システムの概要

保険者の持つレセプト情報を「基本医療情報」として臨床の現場で必要に応じ簡単に閲覧できるようにした仕組み。



【稼働予定時期】

【導入予定医療機関】

【閲覧できる情報】

【事業実施主体】

令和3年4月～(2年間程度)

200～250医療機関程度を予定

傷病名、投薬情報、手術・処置情報、検査情報

かがわ医療情報ネットワーク協議会

活用シーン

普段の診療時



在宅診療時



災害時や緊急時



必要な環境

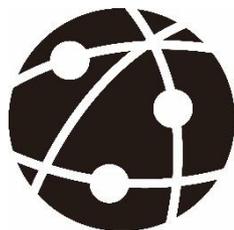
医療機関



医師



患者



インターネット環境



医師のID/PW



認証端末
カードリーダー
(QRコード、ICチップ)



K-MIX R BASICカード



マイナンバーカード
(令和3年8月)

初回利用フロー(K-MIX R BASICカード)

患者に説明、署名徴求



マイナンバーカードの場合は署名の代わりにPIN入力

K-MIX R BASICカードとレセプト情報を紐付け



カードの発行 (再発行・登録解除)



二回目以降の利用フロー(K-MIX R BASICカード)

カードの提示(患者同意)



カードの読み取り



診察



Ⅱ-2. ネットワークを活用した医療機関・保険者間連携に関する調査

(4) 調査結果

1. 診療現場におけるレセプト情報の有用性に関する評価の収集とその分類・整理検証

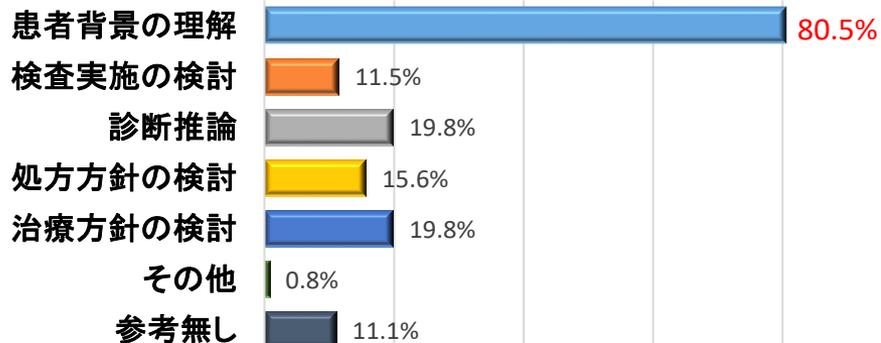
- 医師の活用評価シートにおける、各情報項目がどのように参考になったかについての回答(複数回答あり)を集計。
- **傷病情報**及び**手術・処置情報**は「**患者背景の理解**」に、**投薬情報**は「**処方方針の検討**」に、**検査情報**は「**検査実施の検討**」に最も参考になったとの評価。一方、**手術・処置情報**及び**検査情報**については**3割程度参考になる情報がなかった**との回答。

医師(回答n=443)

(活用評価シート調べ)

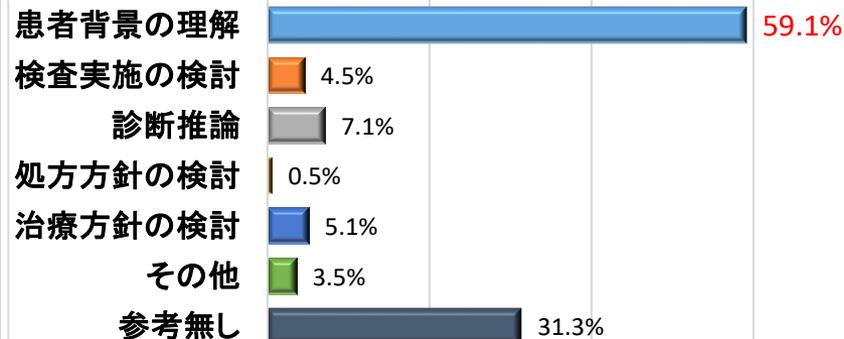
傷病情報は何の参考になった

(「閲覧」回答件数=262)



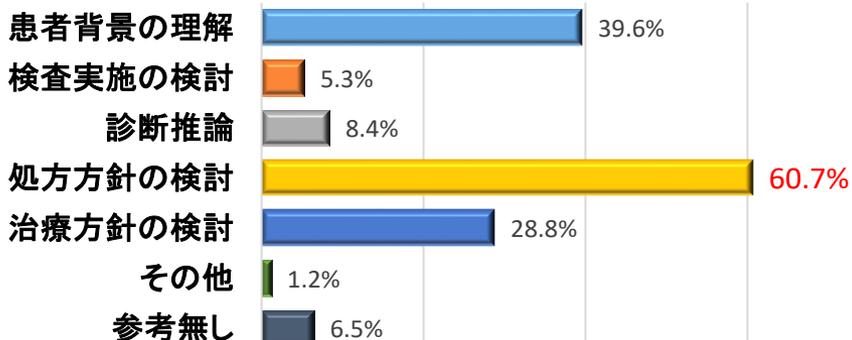
手術・処置情報は何の参考になった

(「閲覧」回答件数=198)



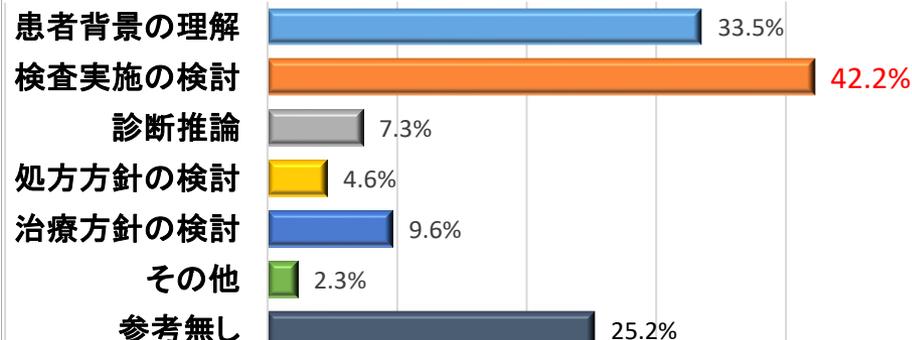
投薬情報は何の参考になった

(「閲覧」回答件数=417)



検査情報は何の参考になった

(「閲覧」回答件数=218)



患者サマリー画面

閲覧画面(2019年)

RICSS 2844b917f0 様

トップ 患者サマリー 病歴 手術・処置歴 薬歴 / 投薬 検査歴 主訴検索 患者詳細 翌年へ 前年へ

患者サマリー

傷病: 高血圧性疾患, アレルギー性鼻炎, 中耳炎, 喘息, ウイルス性肝炎, 糖尿病, 肝疾患, 虚血性心疾患, 血

投薬: 血圧降下剤, 血管拡張剤, 高脂血症用剤, 血液凝固阻止剤, 解熱鎮痛消炎剤, 痔疾用剤

処置・手術: 鼓室処置(片), 創傷処置(100cm2未満), ネプライザー, 鼻処置, 口腔・咽頭処置, 外耳道異物除去術(単純), 腰剖

検査: コンピューター断層診断, 尿・糞便等検査, 画像診断(MRI), 画像診断(その他), 超音波検査, 免疫学的検査, 心電図

診療年月

| | 傷病 - 高血圧性疾患 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------|----|---|---|-------|---|---|---|-------|---|---|----|-------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|
| | 2019年 | | | | 2018年 | | | | 2017年 | | | | 2016年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 12 | 11 | 10 | 9 |
| 入院 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外来 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調剤 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

患者詳細

2844b917f0 様 627933001e 様

03-26 生理食塩水 20mL 1管 × 2

処置

- 03-28 ドレーン法(ドレナージ)(その他) 1
- 03-27 酸素吸入 1
- 03-27 液体酸素・定置式液化酸素貯槽(CE) 60L × 1

手術

- 03-27 人工骨(汎用型・吸収型・多孔体・一般型) 15mL × 1
- 03-27 固定用内副子(プレート)(骨端用(生体用合金1)・標準型)
- 03-27 固定用内副子(スクリュー)(一般(生体用合金1)・標準型)
- 03-27 固定用内副子(スクリュー)(一般(生体用合金1)・標準型)
- 03-27 吸引留置カテーテル(能動吸引型・創部用・軟質型)
- 03-27 膀胱留置用ディスポーザブルカテーテル(2管一般(3)・閉鎖型)
- 03-27 固定用金属ピン(一般用・標準型)

調剤

薬歴

- 01-05 ラベプラゾールNa錠10mg 1錠 × 35
- 01-05 リカルボン錠50mg 1錠 × 2
- 01-05 アムロジピン錠10mg 1錠 × 35
- 01-05 テルミサルタン錠80mg 1錠 × 35
- 01-05 クロビドグレル硫酸塩75mg錠 1錠 × 35
- 01-05 ビタバスタチンカルシウムOD錠1mg 1錠 × 35
- 01-05 フェブリク錠20mg 1錠 × 35

| よくある質問 | 答え |
|--|---|
| <p>無償貸与PCではなく自己調達したPCを使用する場合の注意点はなんですか。</p> | <p>インターネット環境が整っており、WindowsPC(ブラウザはEdge、Chromeが推奨)に安全対策として専用のクライアント証明書をダウンロードすれば認証端末として利用が可能となります。 自己調達PC用のクライアント証明書は一定数、協議会が無償で準備します。但し、ICカードリーダー、QRコードリーダーは別途ご用意頂くこととなります。</p> |
| <p>医師以外の事務職員も本システムの利用はできますか。</p> | <p>可能です。但し、患者の医療情報を閲覧する権利はありません。患者の受付やK-MIX R BASICカードの発行、再発行、登録解除、更には患者が保険者を異動した際や、K-MIX R BASICカードからマイナンバーカードにアクセスキーを変更した場合の処理などを行うことが可能です。そのための独自のID/PWを発行いたします。</p> |
| <p>閲覧する患者の医療情報は診療後も見ることができますか。</p> | <p>安全対策上、認証端末自体にはデータは保存できません。しかし、診療日の翌日AM5時までは閲覧することが可能です。</p> |
| <p>緊急時利用のポイントは。</p> | <p>生命、身体の安全を守るため緊急かつやむを得ない場合は、患者の明確な意思表示がなくとも医師の判断により利用可能です。アクセスキーがない場合、本システムに登録している患者に限り、特例措置として被保険者証の情報を入力することにより、レセプト情報を閲覧できる仕組みとなっています。</p> |
| <p>レセプトデータの格納期間はどのくらいですか。また、データは蓄積されるのか。</p> | <p>令和3年4月開始時は最大過去12カ月分となります。その後の月次処理データはそこに追加蓄積されていくこととなります。</p> |
| <p>患者が保険者を異動した場合、新しい保険者の情報は見ることができますか。</p> | <p>保険者異動後の新しいレセプト情報を認証端末にて紐付けていただくことによって、過去のデータと連続して閲覧できます。</p> |
| <p>マイナンバーカードはいつから使用できますか。</p> | <p>令和3年8月から使用可能となる予定です。K-MIX R BASICカードから切り替えることも可能です。</p> |
| <p>マイナンバーカードの読取に必要なICカードリーダーは自費で用意する必要がありますか。</p> | <p>無償貸与PC500台と同数分は同時に配布予定です。</p> |
| <p>K-MIX R BASICカードには署名が必要ですが、マイナンバーカードの場合はどうするのですか。</p> | <p>マイナンバーカードの場合は署名の徴求は不要です。その代わりに、利用の都度、ICカードリーダーによる読取りと4桁のPIN入力(暗証番号)が必要となります。</p> |

| よくある質問 | 答え |
|---|--|
| カードは一度作ればどこの医療機関でも利用できるのか。 | 本事業への参加医療機関に所属する登録医師の診察時に利用することができます。 |
| レセプト情報のタイムラグは。 | レセプト情報なのでおおよそ二～三ヶ月間のタイムラグがあります。 |
| 患者がカードを紛失した場合はどうするのか。 | 端末で紛失したカードの登録内容を消去してから新規カードを発行します。操作自体は簡単で、消去と新規カード発行が一度の処理で可能です(再紐付け)。 |
| .新規患者がK-MIXRBACISカードを持っているかの確認については。 | 登録済か否かの確認は、患者の被保険者証の情報を入力することにより確認することが可能です。 |
| iPadは使えるのか。 | iPadではマイナンバーカードを読ませる方法がありません。そのため、令和3年8月以降に予定しているアクセスキーとしてマイナンバーカードを使用することに対応できないことから推奨いたしません。 |
| 医療機関名は分かるのか。 | 医療機関名は分からないようにしております。 |
| 本事業が始まることによって、医療機関側のレセプト作成内容が変わることはあるか。 | 変わりません。今まで通り作成頂ければ大丈夫です。 |
| 症状詳記も見ることにはできるのか。 | 見ることはできません。 |